

県民体バレーボール

奥州クラブ
小沢市長へ
2種目制覇を報告

第64回県民体育大会バレーボール競技に奥州市代表として出場した奥州クラブが、成年男子6人

制と同9人制Aの2種目で優勝を果たした。同競技の優勝は合併後初めて。19日に市役所本庁を



第64回県民体育大会バレーボール競技で2種目制覇を果たし、小沢市長(左)に優勝報告を行った奥州クラブの(左2人目から)齊藤さん、後藤さんら

訪れたチーム関係者は、小沢昌記市長に念願の初優勝と2種目制覇を報告し、「クラブ結成から2、3年をかけてようやく成果が出て優勝することができた」と胸を張った。

同競技は今年14、15の両日、二戸市などで開催され、奥州クラブは成年男子の6人制と9人制Aに出場。6人制は初戦で釜石市代表、準決勝で盛岡市代表、決勝で北上市代表にそれぞれ2-0のストレート勝ちを収め、53回(2001年度)の旧江刺市以来、11年ぶりとなる優勝を飾った。

一方、9人制Aは初戦で大船渡市代表に2-0で勝利。準決勝の盛岡市代表戦と決勝の花巻市代表戦は、1セット目を落としたものの、その後の2セットを連取して逆転勝ち。同種目では合併前

を含めて初優勝を成し遂げた。

小沢市長への優勝報告には、6人制で監督兼キヤプテンを務めた後藤一臣さん(29)と、9人制Aで選手兼監督を務めた齊藤貴洋さん(35)、市バレーボール協会の及川洋会長(61)の3人が訪れ、優勝杯と賞状を披露しながら懇談した。

小沢市長は「練習成果を發揮し、優勝できたことをうれしく思う。今後もげがに気を付け、チームワーク良く、頑張ってもらいたい」と合併後初の優勝をたたえた。

53回大会で優勝した旧江刺市代表のチームメイトという後藤さんと齊藤さん。「今季は5月の団体県予選を優勝し、勢いがある状態で臨めた」(齊藤さん)、「今回は私が出場しないで、若いメンバーに気持ちよくプレーしてもらえるように努めた」(後藤さん)と話し、再び手にした優勝を喜び合う。